

脱原発を求めて

質問 知事は原発に対して、直ちに原発をなくすことは現実的でないとの認識を示していますが、原発事故を二度と起こしてはならないという考えは同じだと思います。二度と起こさせないための考えをお答え下さい。

答弁 今ここですぐ原発を止めるとするのは、あまり現実的ではないと考える。総合的な実現可能なエネルギー政策を、国が早急に示すべきと思う。

質問 核廃棄物の処理が難しいという状況の中、脱原発を決意することが、本当に現実を見据えることではないかと考えます。

答弁 原発を含めた総合的なエネルギー政策は、国が責任を持って、方向性と具体的な道筋を明らかにすべきと考える。

質問 指定廃棄物の最終処分場を県民におしつけたいよう、国に強く申し入れるべきと思いますがお答え下さい。



質問 放射性物質汚染対処特措法は「指定廃棄物の処理は当該指定廃棄物が排出された都道府県内において行うもの」としており、この方針に従って、県としても全面的に協力する。

答弁 放射線物質汚染対処特措法は「指定廃棄物の処理は当該指定廃棄物が排出された都道府県内において行うもの」としており、この方針に従って、県としても全面的に協力する。

高齢者介護充実が県民の願い、あまりに貧弱な特別養護老人ホームの整備状況、全国最下位

県政に対する要望の常に上位にある高齢者福祉の充実。中でも特別養護老人ホームへの入所希望者は多く、何年待ったらい入所できるのかわからない今日の状況です。高齢者の人権を守る視点から特別養護老人ホームのさらなる整備を強く求めました。

質問 特別養護老人ホームの待機者の状況はどうですか。

答弁 高齢化の進展に伴い、入所希望者数については毎年増加する傾向にあり、積極的に整備を進めてきている。

※ 特別養護老人ホーム入所希望者数(平成24年7月1日現在) 18701人(県内)

在宅 ひとり暮らし 要介護5 406人
在宅 夫婦のみ世帯 要介護5 416人
在宅 要介護5 578人

○流山市における状況
入所希望者数 578人
在宅 336人
要介護5 134人
依然として厳しい状況での介

発事故により放出された放射性物質による汚染状態が1kg当り8000ベクレルをこえる廃棄物を指定廃棄物とし、国が当該都道府県内に最終処分場を確保し、その責任において処理するとなりました。

原発・エネルギー政策は国がかせの知事の発言が続いていますが。放射能ホットスポットになつてしまった地域の危機感が全く感じられません。

質問 特別養護老人ホームの整備状況はどうですか。

答弁 65歳以上人口10万人当たりの施設定員数の割合でみると昨年の10月1日現在で、本県の整備状況は全国最

広がるお泊まりデイ、このままではこのか！県は検討会を設置

通所介護事業所での宿泊サービス、いわゆるお泊まりデイの実態と問題点を質問しました。本来ならば、日中の利用だけのデイサービスに帰宅することなく宿泊をするものです。この宿泊は介護保険の事業外ということである実態把握もむずかしいことである。野放し状態です。このまま広がることは、高齢者の人権・生命健康にかかわる問題です。

質問 昨年行なった県の実態調査の結果はどうでしたか。

答弁 県内1202の通所介護事業所に対し、

987事業所から回答があり、そのうち121事業所が宿泊サービスを実施。

カジノすなわちギャンブルは人の不幸を伴うもの

※ 県は平成21年度から整備のスピードをアップしていると言つてきていますが、高齢者介護の貧弱さは全国一。しっかりと認識をし、これからの急激な高齢者増に備えなければなりません。

IR統合リゾートというオブラートに包みながらカジノをこの千葉県に実現しようとする動きが強まっています。どのようになごまかしてもカジノはIRのエンジン部分です。

質問 カジノがもたらす負の影響について、どのように考えていますか。

答弁 治安や青少年への影響、ギャンブル依存症などの懸念が指摘されている。国会議員で構成するIR議員連盟が示した推進法案では政府が

新流山橋の建設実現に向けて

千葉県流山市と江戸川をはさみ埼玉県三郷市の長年にわたる課題であり、その実現が待たれているのが、新流山橋の建設です。流山8丁目交差点での交通渋滞は慢性的であり、付近の生活道路にも長年様々な影響を与え続けています。

質問 新流山橋の現在の状況と今後の進め方はどうですか。

答弁 平成17年の都市計画決定の際の意見をふまえ、県道松戸野田線との交差構造などについて、地方説明会や対話集会を重ね、概ねの理解が得られたことから本年8月都市計画の変更を行った。整備の進め方などについて埼玉県と協議、調整を進めていく。

※ 現在カジノは刑法の賭博罪にあたり非合法です。今、このカジノを合法化しようとする動きがあり、合法化を見据えて、カジノ誘致をしようとする自治体の動きも活発になっていきます。千葉県も「グレートアップ成田活用戦略会議の成田空港を活用した経済活性化戦略の提言」にIRカジノ導入可能性の検討が盛り込まれています。県の「カジノで活性化」にストップを。

宿泊の最長提供日数(一番長く継続利用している人の利用期間数)

利用期間	事業所数	割合(対 回答事業所120)(無回答を除く)
1日~5日	45	37.5%
6日~10日	10	8.4%
11日~20日	13	10.8%
21日~31日	31	25.8%
2か月未満	4	3.3%
6か月未満	5	4.2%
1年未満	6	5.0%
1年以上	6	5.0%
無回答	1	-
合計	121	100.0%
最短利用日		1日
最長利用日		4年

紙面では少ししかお伝えできませんが、他に質問した課題です。

- 財政見直しと予算編成について
- 女性の権利を守るためのDV対策
- 消防学校について
- 防災会議における男女共同参画
- 石油コンビナートの安全対策
- 入札制度について
- 公契約条例の制定について
- 高齢者介護の地域包括ケアシステム
- 柏原材処理センターVOC(揮発性有機化合物)問題
- エコテック最終処分場問題 等々